

第50回東北総合体育大会（岩手県開催）取材規制事項一覧

No.	競技種目名		取材規制事項
1	水泳	水球	特になし。競技委員長の指示に従ってください。
		アーティスティック スイミング	①指定されたアリーナ内の場所での取材に限りです。 ②フラッシュ撮影は禁止します。 ③7/8(土)11時30分からのフィギュア競技は非公開のため取材できません。
2	ローイング		①スタートライン（発艇線）を中心とし、前後50m ②フィニッシュライン（決勝線）を中心とし、前後50m ③大会期間中は、審判長の承認を得てから撮影を行ってください。（水上部分） ④大会期間中は、競漕委員会の承認を得てから取材、撮影を行ってください。（陸上部分）
3	カヌー		特になし。競技委員長の指示に従ってください。
4	ボウリング		①　ご来場の際は、受付を行ってください。 ②　受付では名刺をご提示の上、受付簿に必要事項を記入してください。 ③　競技会場内では、自社腕章等と報道員のサイン表示をお願いします。 ④　競技中、競技フロア内や観覧席でのフラッシュやライトを使用しての撮影は競技の妨げとなりますのでご遠慮ください。 ⑤　会場に取材用のパソコン、電話・FAX・インターネット回線は用意しません。 ⑥　報道用スペースは1階、3階ともコンコース上となります。 ⑦　競技中は、ボウラーズエリア・アプローチ内には絶対に入らないでください。競技に支障を来たす動作も禁止します。 ⑧　いかなる場合も、レーン場への立ち入りは禁止です。レーンコンディションが変わり、競技に重大な支障を与えます。 ⑨　表彰式時は、ボウラーズエリア・アプローチ内への立ち入りはできますが式典進行の妨げにならないようにしてください。 （賞状授与後、若干ながら写真撮影の時間を設けますので、フラッシュやライトを使用しての撮影可能です。） ⑩　競技本部、記録本部及び役員・来賓控室等への立ち入りはご遠慮ください。 ⑪　競技内容及び取材、撮影での不明点については、報道担当（岩手県ボウリング連盟）の指示に従ってください。 ⑫　選手へのインタビューについては、監督の許可を得た上で行ってください。 ⑬　競技開始直前、競技中のインタビューはご遠慮ください。 ⑭　インタビューは、競技運営に支障のない場所で行ってください。選手控え所をご利用ください。 ⑮　会場内に駐車場はありませんので、臨時駐車場をご利用ください。 ⑯　駐車場での事故及び盗難等については、一切の責任を負いませんのでご注意ください。 ⑰　場内・競技会場敷地内、全て禁煙となっております。 ⑱　携帯電話の競技エリアでの使用はご遠慮ください。また、着信音はお切りください。
5	ゴルフ		①フロントで受付した後大会本部へお越しいただき、競技委員長の指示に従ってください。 ②報道各社の腕章等身分の分かるものを着用してください。 ③コース内での取材は、1番、10番ホールのティーイングエリア付近と9番、18番ホールのグリーン付近とします。 （コース内への立ち入りは禁止します。） ④プレーライン上、特にプレーライン後方からの撮影は禁止しています。 ⑤選手がアドレスに入る気構えを見せてからインパクトまでは、絶対にシャッターを切らないでください。 ⑥プレー中、スコアカード提出を終えるまで、選手に対してインタビュー等いかなる要請も禁止します。 取材にあたっては、選手のプレーやギャラリーの観戦の妨げにならないようご配慮ください。
6	サッカー		①各グラウンド撮影許可エリアを指定しますので、会場責任者の指示に従ってください。 ②自社腕章もしくは大会主催者発行IDカードを携帯してください。
7	陸上競技		①報道受付にて報道用ビブスを配布しますので、必ず着用してください。 ②大会総務の指示に従ってください。
8	テニス		①取材担当のディレクターに申し出てください。 ②コート内の取材は、原則的にできません。 ③サービスする選手に対して、フラッシュ撮影は禁止です。 ④プレー中のコート周辺の移動は避けてください。
9	ホッケー		特になし。競技委員長または会場責任者の指示に従ってください。
10	ボクシング		競技中の写真撮影は白コーナーリングサイドからのみお願いいたします。動画撮影については脚立等をご利用の上、リング3m程度離れた場所からお願いいたします。なお、場内でのフラッシュ、照明の利用は競技の妨げとなりますので禁止します。 なお、当日は取材担当者だと分かる腕章、ビブスを各自ご準備いただけると助かります。
11	バレーボール		①本部で撮影許可をとってください。 ②プレーの支障となるため、フラッシュ撮影は禁止します。 ③競技中にはコートを含む競技エリア（サイドラインから5m、エンドラインから6.5m）へ入ることはできません。
12	体操		①受付で名刺等の身分証明書を提示し、撮影許可申請書に記入・提出後、ビブスを受け取り、必ず着用してください。 ②フラッシュ・照明の使用及び超望遠レンズによる撮影は禁止します。 ③アリーナ内の撮影については、許可された場所に限りです。 ④体操競技女子（段違い平行棒、平均台、跳馬）については、正面からの撮影を禁止します。 ⑤アリーナ以外（観客席など）での撮影については、競技役員の指示に従ってください。
13	バスケットボール		①本部で撮影許可をとってください。 ②プレーの支障にならないよう、フラッシュ撮影とベンチエリア内への立ち入りを禁止します。
14	レスリング		特に規制なし。競技委員長の指示に従ってください。
15	ウェイトリフティング		①競技中のストロボ・フラッシュ撮影は禁止します。 ②競技役員の指示に従ってください。
16	ハンドボール		①試合中のフラッシュ撮影を禁止します。 ②その他については、競技委員長の指示に従ってください。
17	自転車		①総務委員長の指示に従ってください。
18	ソフトテニス		①試合中のフラッシュ撮影を禁止します。 ②その他は、総務委員長の指示に従ってください。
19	卓球		①試合中のフラッシュ撮影を禁止します。 ②競技フロア内は、立ち入り禁止です。 ③報道各社の腕章を着用し、必ず受付を済ませてから取材をお願いします。 ④ボールが見づらくなるため、白色の衣類は、避けてください。
20	軟式野球		競技委員長の指示に従ってください。
21	相撲		①競技委員長の指示に従ってください。 ②競技中は、ストロボ、フラッシュ撮影を禁止します。 ③試合場（土俵）に入らないでください。

22	馬術	①競技中（演技中）のフラッシュ撮影を禁止します。 ②競技中（演技中）に物を転倒させるなど、物音を立てることを禁止します。 ③競技中（演技中）に、馬の注意を引く行為（動き）を禁止します。 【※馬は大変臆病な動物です。小さな刺激でも過大な反応を引き起こし、競技に支障を来す恐れがあるため】 ④競技場柵内への立ち入りは、原則禁止します。柵内立ち入りが必要な場合は、競技運営委員長の許可と係員の安全確保の下で行動すること。 【※競技場柵内は、馬の競技及び練習が行われており、大変危険であるため】
23	フェンシング	競技中、アリーナ内及びギャラリー内でのフラッシュ撮影は禁止します。
24	柔道	①競技中のフラッシュ撮影は禁止します。 ②試合場の畳の上には入らないでください。
25	ソフトボール	①競技本部で受付し、取材中は報道各社の腕章を着用してください。 ②球場内での撮影は原則禁止します。 ③スコアカード写しを希望する場合は、記録委員長へ申し出てください。
26	バドミントン	①プレー中のフラッシュ撮影は、フロアー内、観客席ともに禁止します。 ②フロアーへの立ち入りは、競技委員長の許可を得て、大会本部の指示に従ってください。 ③選手（県・団体・個人）の撮影やインタビューは、競技委員長の許可を得て、大会本部の指示に従ってください。
27	弓道	①射場内では指定の場所での撮影を可とします。ただし、撮影は係員の許可を得て行うこととする。 また射場内でのフラッシュ撮影は禁止します。 ②射場外、観客席での撮影は、フラッシュ撮影も含め可とします。
28	ライフル射撃	①報道各社の腕章を着用してください。 ②競技役員の指示に従ってください。 ③競技中のフラッシュ撮影、競技エリア内への入場を禁止します。
29	剣道	試合中のフラッシュ撮影は禁止します。
30	ラグビーフットボール	特になし。競技委員長の指示に従ってください。
31	山岳・クライミング	①報道各社の腕章を着用してください。 ②競技中のフラッシュ撮影は禁止します。 ③競技委員長の指示に従ってください。
32	アーチェリー	①報道各社の腕章を着用し、必ず受付を済ませてから取材をお願いいたします。 ②シューティングゾーン内に入らないでください。 ③決められた場所で撮影してください。
33	空手道	競技中のストロボ、フラッシュ撮影は禁止します。特に形の競技中は演技の妨げとなります。
34	銃剣道	①報道各社の腕章を着用してください。 ②試合中のフラッシュ撮影は禁止します。
35	クレール射撃	①競技場内でのフラッシュ撮影を禁止します。 ②競技エリア内での撮影を禁止します。
36	なぎなた	①競技中のフラッシュ撮影を禁止します。 ②総務委員長の指示に従ってください。（撮影場所等）
37	アイスホッケー	①競技場内のフラッシュ撮影を禁止します。 ②ベンチエリア付近の立ち入りを禁止します。 ③腕章など所属先の分かる物を身に付けてください。